

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公開番号】特開2007-316418(P2007-316418A)  
【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)  
【年通号数】公開・登録公報2007-047  
【出願番号】特願2006-146720(P2006-146720)  
【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 5 3 8

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

未定着像を記録材上に加熱定着する定着手段と、前記定着手段によって定着された記録材の移動を案内する案内手段と、を有する画像形成装置において、

前記案内手段は、記録材案内側の空気を吸引するための開口手段を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記開口手段は記録材の搬送方向と直交する方向に沿って設けられた複数の吸引口を備え、前記案内手段は、前記複数の吸引口のうち互いに異なる少なくとも一つの吸引口で吸引された空気を前記案内手段の記録材の搬送方向と直交する方向の端部に導くための互いに独立した少なくとも 2 つの風路を有することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記案内手段の記録材の搬送方向と直交する方向の端部には、前記各風路の空気を吸引する吸引手段が設けられていることを特徴とする請求項 2 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記案内手段は、前記定着手段の上方に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記案内手段は記録材と接するリブを有し、前記開口手段は前記リブの間に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。